



# IIXIL ラフィス 上吊引込み戸ライン枠 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

## ■守っていただきたいこと

**▲注意** …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

### ▲注意

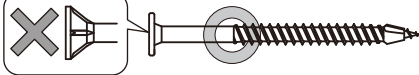


●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。脱落するおそれがあります。



●2人以上で作業してください。製品の倒れによるケガのおそれがあります。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	枠の取付精度を守りましたか？ (枠の倒れ、ねじれ、タイコ・ツツミ±3mm以内)	<input type="checkbox"/>
2	枠施工後に天井ボード施工しましたか？	<input type="checkbox"/>
3	ソフトモーション受け金具・補強金具は指定のねじで固定しましたか？ 	<input type="checkbox"/>
4	ライン幅木(樹脂)は、壁紙施工後にビニル共重合系接着剤で張付けしましたか？	<input type="checkbox"/>

## 保管・施工前のお願い

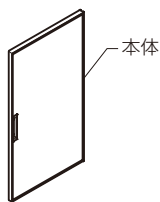
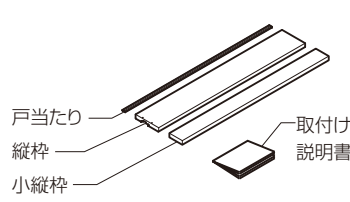


- 取付け後の損傷は免責となるため、開梱時に必ず検品をしてください。  
製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。  
(直射日光があたる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉に支障きたすため、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープは表面シートに貼るとはがす際、シートが損傷するため貼らないでください。
- 立て置きでの長期保管はソリ・ねじれとなるため、寝かせた状態にしてください。
- 本体損傷防止のため、建築工事中は、施工後に吊込むことをおすすめします。
- 採光窓および鏡面色本体の表面にはキズ保護用シートが貼付けてあります。必ず手ではがしてください。
- 戸袋ユニットがソリ・ねじれとなるため取付け直前まで開梱しないでください。

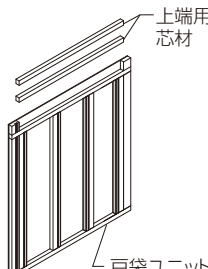




このマンガはフィクションです。実在の人物や団体などとは関係ありません。

## ■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品です。

<b>引戸本体</b> 	<b>縦枠セット</b> 
<b>上レールセット</b> 	<b>部品セット</b> 

<b>戸袋ユニットセット</b> 	<b>中縦枠</b>  <b>クロス下地材</b>  クロス下地材両側仕様は4本 (片側仕様は2本となります)
--	---

名称	入り数
吊車(ソフトモーション付)	1
吊車	1
縦枠取付け用 DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	8
上レール・受け金具・補強金具取付け用 低頭2条ねじφ4×50	19
ソフトモーション 受け金具	2
補強金具	1
ライン枠引込戸用 固定ガイドピン	1
ガイドピン取付け用 皿タッピンねじφ3.5×20	4
戸尻ストッパー	1
戸尻ストッパー取付け用 特平木ねじφ3.8×20	2
ライン枠部品取付け用治具	1
L型金具	1
レール端部キャップ	1
縦枠上部ピース	1

## ■開口部の作り方

### 開口施工上のお願

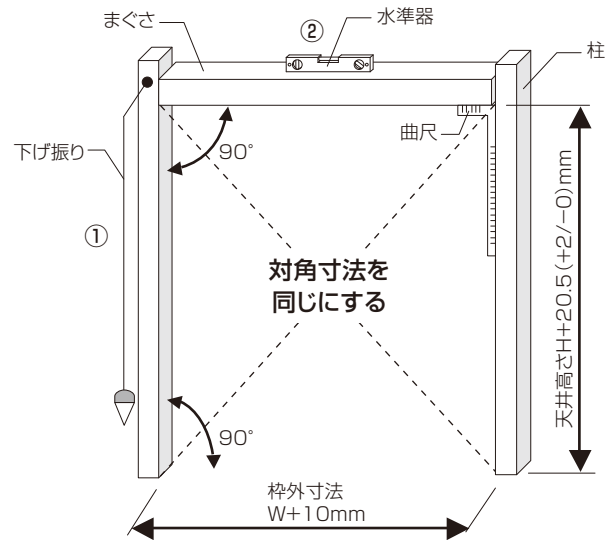
- 本製品は天井納まりです。天井ボードは枠を取付けてから施工してください。
- 製品不具合となるため、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 躯体の強度不足は、垂下りとなるため、本体30kg/枚の強度を確保してください。
- 小壁は枠を取付けてから施工してください。

### 【軽量鉄骨に施工する場合】

同梱のねじを使用しないと開閉不良になります。  
 軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

①開口は、天井高さH+20.5(+2/-0)mm、幅：+10mmとしてください。

②開口は必ず、水平垂直にしてください。



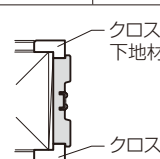
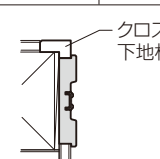
### ■対応壁厚について

#### クロス下地材仕様

(単位：mm)

仕様	両側仕様		片側仕様	
	12.5	9.5	12.5	9.5
ボード厚	12.5	9.5	12.5	9.5
柱寸	柱105	130	124	130~
	柱120	145	139	124~

参考納まり例		
	クロス下地材	クロス下地材

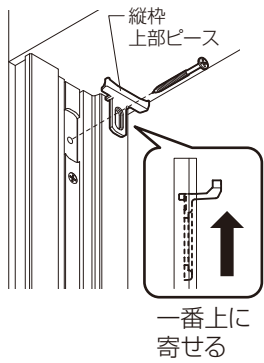
## 2-1 枠(縦枠)の取付け

### 枠(縦枠)取付上のお願ひ

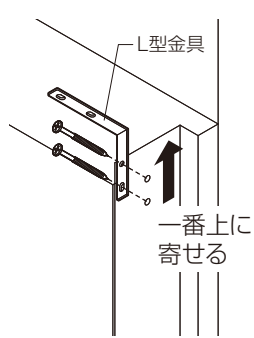
- 製品脱落・開閉不良になるため、必ず同梱の指定ねじを使用してください。
- コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に、防水処理をしてください。
- 枠は必ず水平垂直に取付けしてください。
- 枠と躯体の間に、かい木の表裏に接着剤(現場手配)を塗布してねじ固定部に入れてください。
- かい木は躯体(柱・胴縁含む)と同じ幅のものを使用してください。

- ①クロス下地材を使い、枠の奥行き方向の位置出しをしてください。(入隅納まりの場合は不要です。)
- ②枠と躯体の間に表裏接着剤を塗布したかい木を入れてください。
- ③縦枠、小縦枠を指定のねじで固定してください。
  - ・縦枠：縦枠上部ピースを一番上にする。
  - ・小縦枠：L型金具を固定する。

#### ●縦枠上部ピース



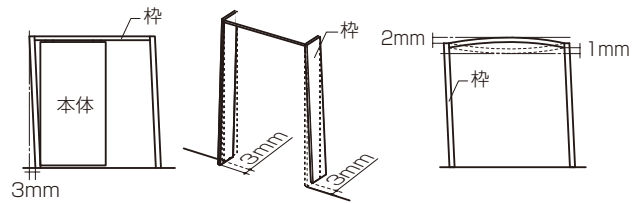
#### ●L型金具



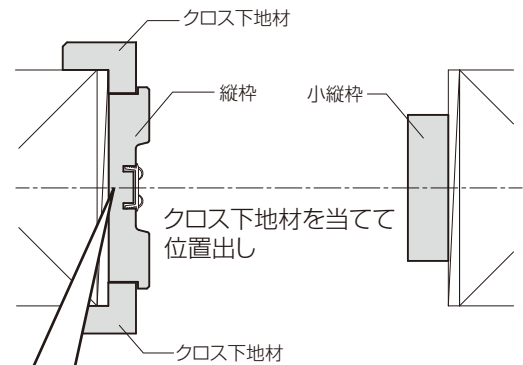
#### ●取付け精度について

下図の範囲内で必ず取付けしてください。

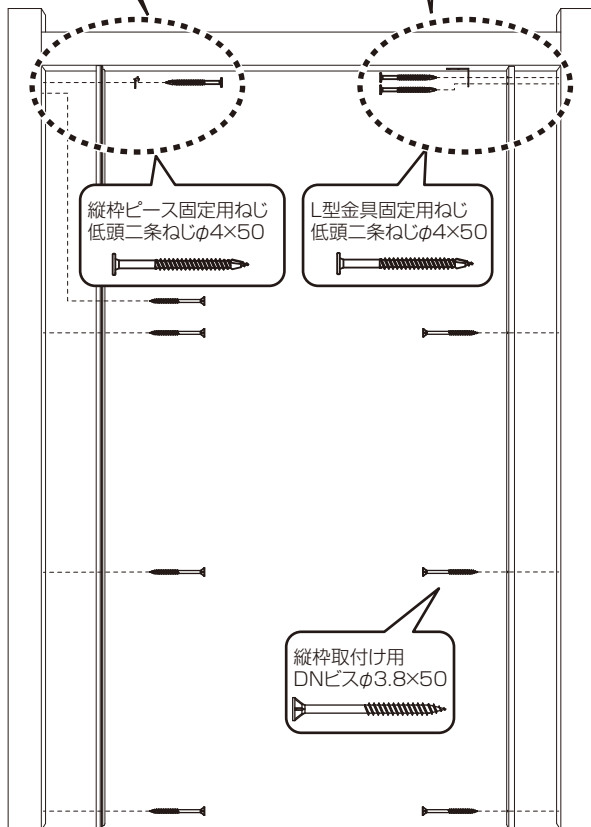
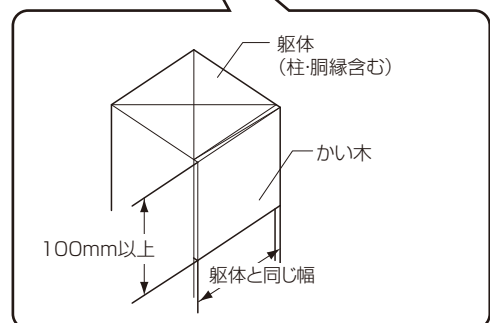
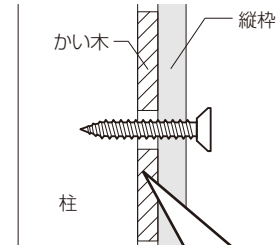
横方向の倒れ 奥行き方向のねじれ 枠のタイコ・ツツミ



#### ●枠の位置出し(奥行方向)



#### ●かい木について



## 2-2 枠(レール)の取付け

### 枠(レール)取付上のお願ひ

- 作動不良となるため、以下の施工を守ってください。
  - ・ 躯体と上レールの間にすき間を作らないでください。
  - ・ レールのジョイント部に段差・すき間を作らないでください。
- ソフトモーションを機能させるため、吊車は受け金具の中間に入れてください。
- 受け金具を正しく固定するため、上レール固定後に取付けしてください。

### <縦枠側レール>

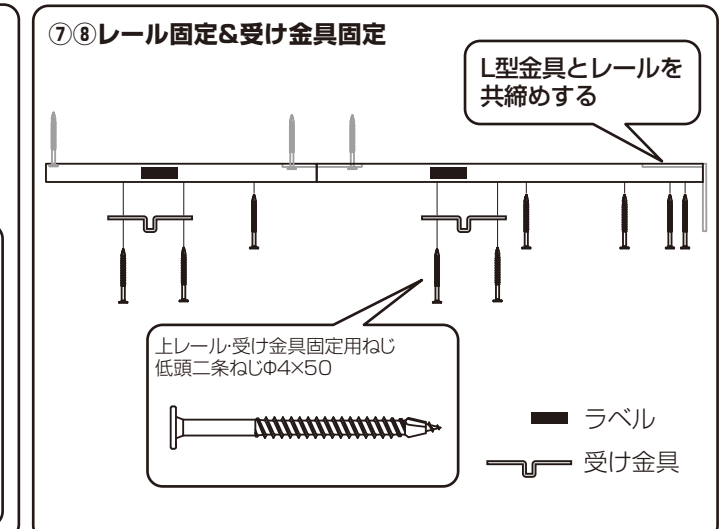
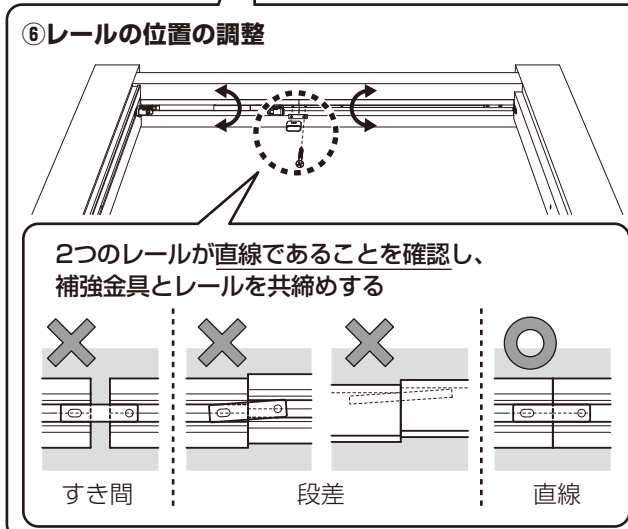
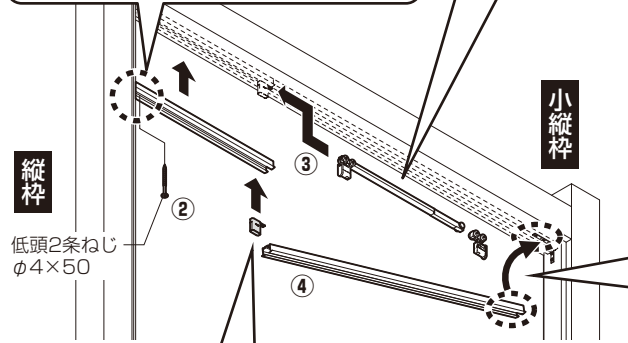
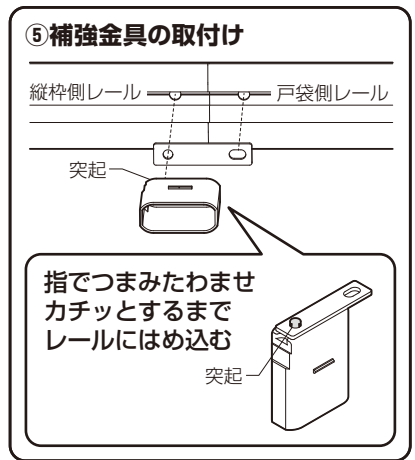
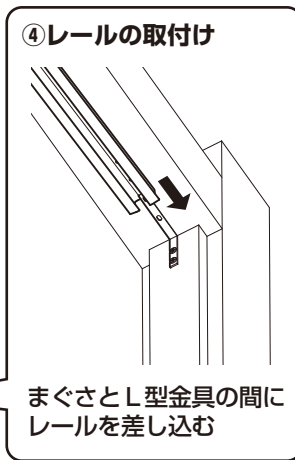
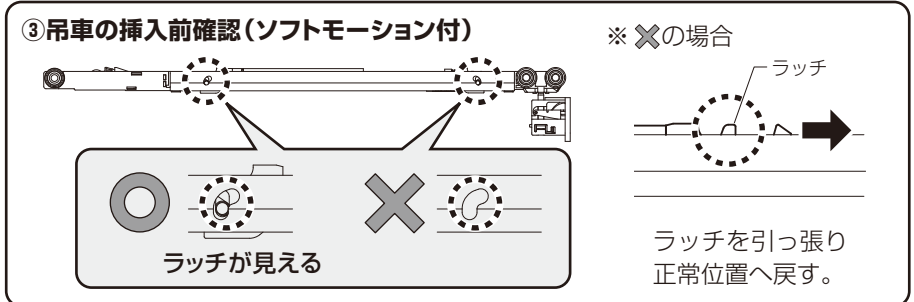
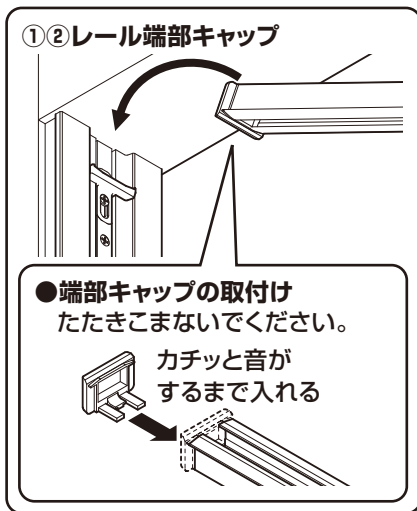
- ① レール端部キャップをはめ込んでください。
- ② レールと縦枠の部品を合わせます。レールを縦枠側に寄せた状態で、縦枠に一番近い固定点で仮固定してください。
- ③ 指定の向きで吊車を挿入してください。

### <戸袋側レール>

- ④ 向きを合わせてL型金具に差し込んでください。

### <レール全体>

- ⑤ 取付け治具の突起に補強金具をはめこんでください。その取付け治具を2つのレールの接合部にはめこんでください。縦枠側レールの穴に取付け治具の突起を差込むとレールが仮保持されます。
- ⑥ レールが仮保持された状態で2つのレールに段差・すき間がなく、直線になるよう調整します。補強金具と戸袋側レールを指定のねじで共締め・固定してください。
- ⑦ 上レールを指定のねじで躯体に固定してください。
- ⑧ 取付け治具を用いて、受け金具を指定のねじで固定してください。



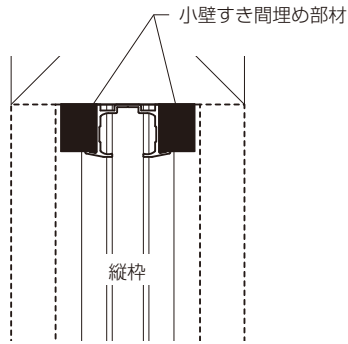
### 3 小壁上部すき間埋め部材の取付け

- ①小壁上部すき間埋め部材をA寸法にカットしてください。
- ②指定の位置に入れて接着剤(※)と、かくし釘(※)で固定してください。

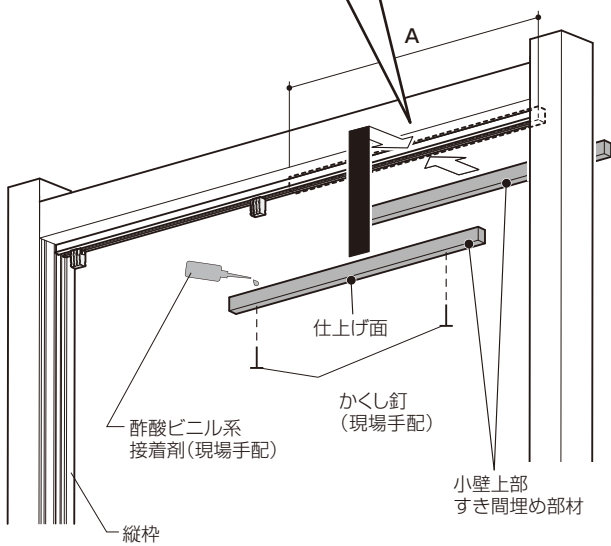
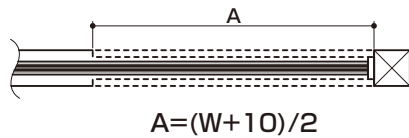
※：現場手配

#### ●納まり図

##### 縦断面図



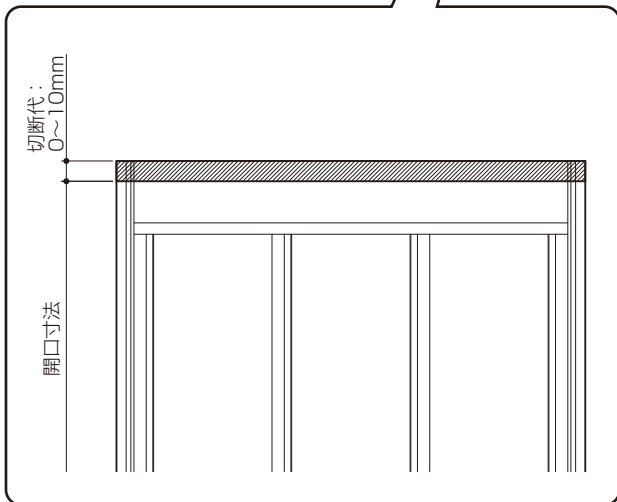
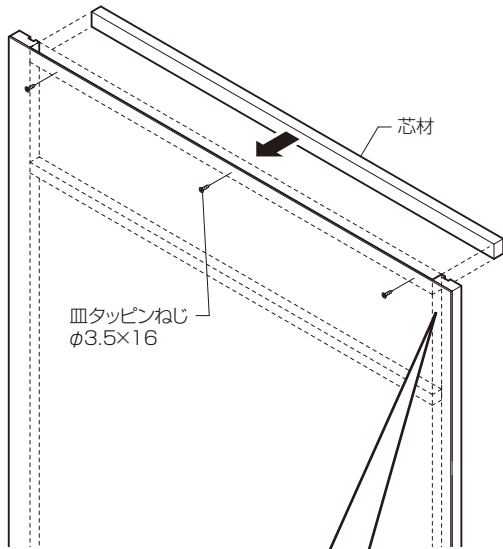
##### 横断面図



#### 4 戸袋ユニットの取付け

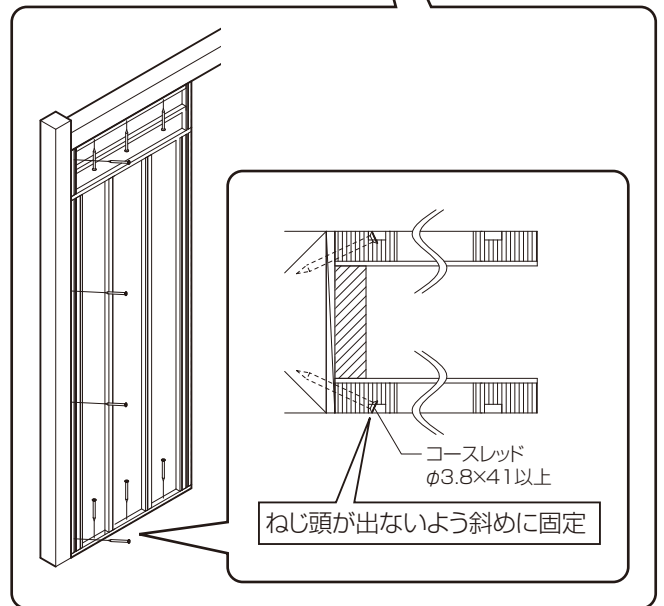
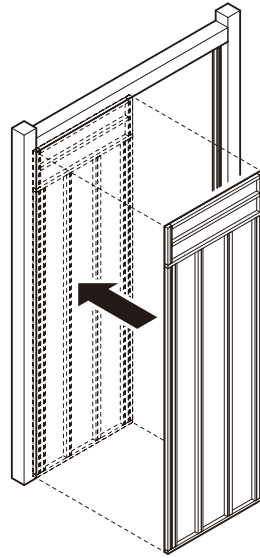
※戸袋ユニットを使用しない場合は現場で小壁を仕上げてください。

- ①開口部の高さに合わせて戸袋ユニットの上部を切断してください。
- ②同梱の芯材を上端に指定のねじで固定してください。

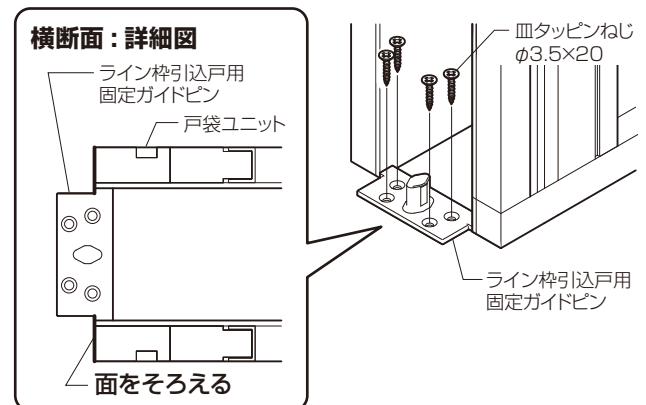


③戸袋ユニットを開口内に設置し、下穴を空けてコースレットφ3.8×41以上(現場手配)で固定してください。

④反対側の戸袋ユニットも同様の手順で取付けてください。



⑤ガイドピンを戸袋ユニットに合わせて指定のねじで固定してください。



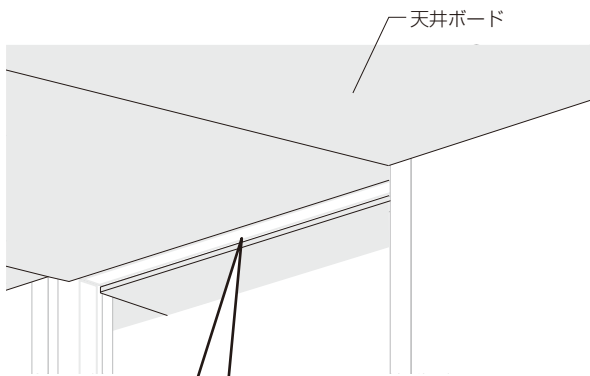
## 5 天井の施工

### 天井施工上のお願い

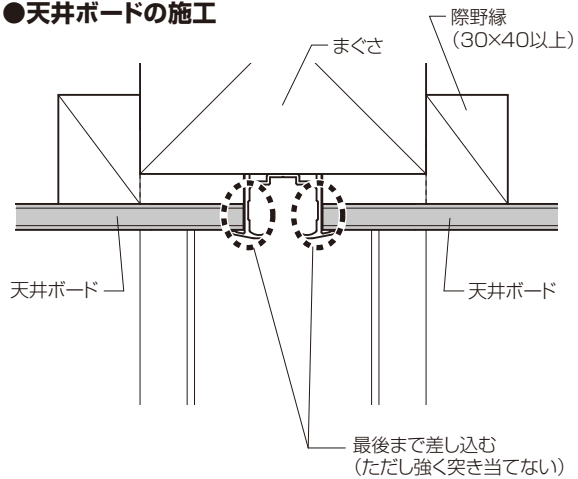
- 鴨居レールが変形して作動不良になるため、天井ボードを強く突き当てないでください。

建築工事(天井ボードは現場手配)

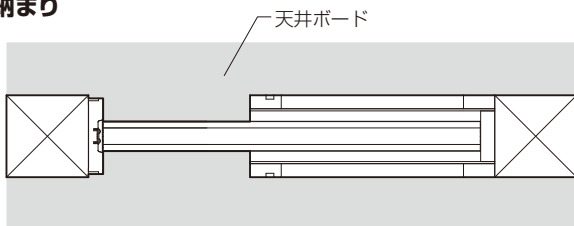
①天井ボードを鴨居レール溝にに入れて施工してください。



### ●天井ボードの施工



### ■納まり



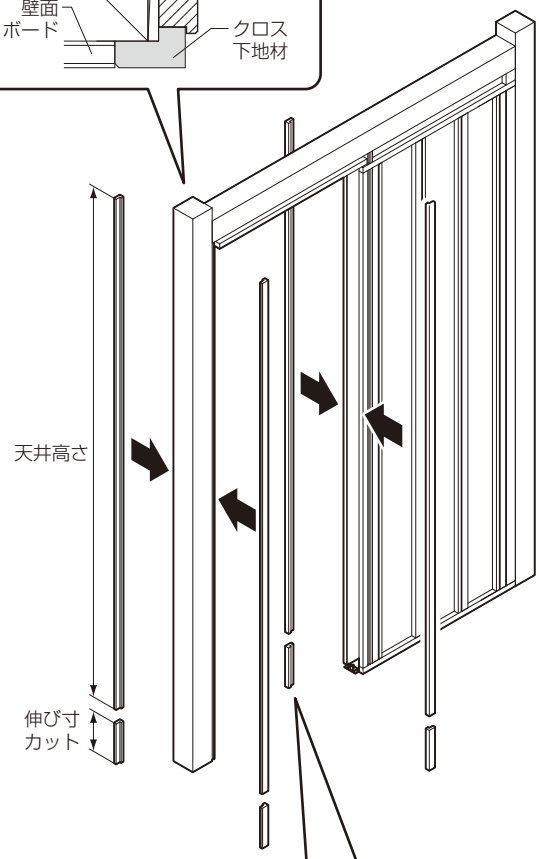
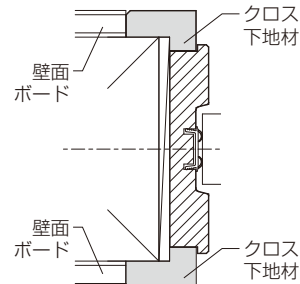
## 6 クロス下地材の施工

平入り納め部に施工してください。

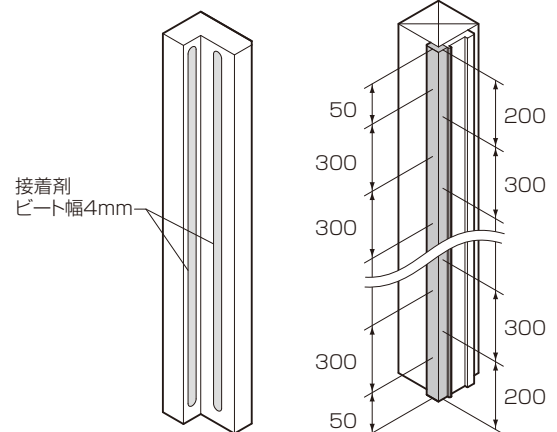
- ①クロス下地材を天井高に合わせてカットしてください。
- ②クロス下地材裏面に接着剤(※)を塗布して指定のピッチで隠し釘(※)で固定してください。

※：現場手配

### 【平入り納まり】

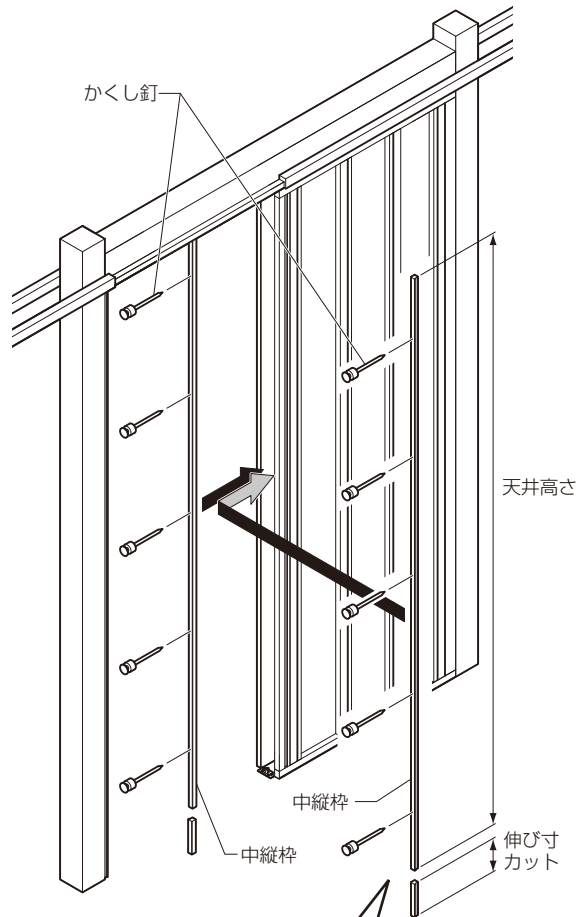


### ●固定方法



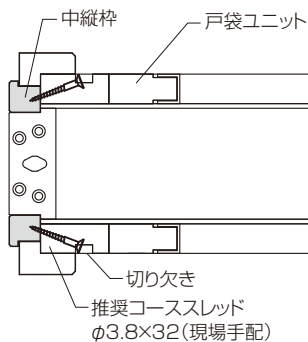
## 7 中縦枠の取付け

- ①中縦枠を天井高さにカットしてください。
  - ②裏面に接着剤(※)を塗布して隠し釘(※)で固定してください。
- ※：現場手配



### ●中縦枠の浮きの対処

戸袋ユニットの切り欠きからねじで引き寄せしてください。



## 8 壁面ボードとライン幅木の施工

### ライン幅木施工上のお願

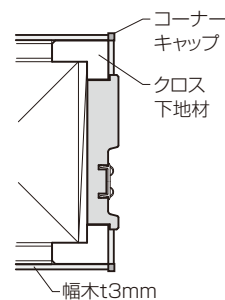
- ライン幅木(樹脂)は剥がれるため、壁紙の上からソフト幅木用接着剤(※)で張付けしてください。
- ※：ビニル共重合系接着剤

### ■ライン幅木(樹脂)

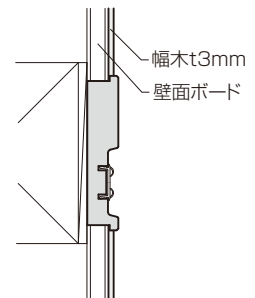
- ①壁面ボードと壁紙を施工をしてください。
- ②壁紙の上から専用接着剤でライン幅木を張付けしてください。

#### クロス→幅木の順で取付け

##### 【平入り納まり】



##### 【両入隅納まり】

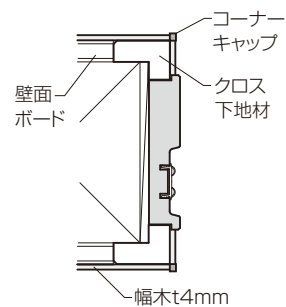


### ■ライン幅木(木質)

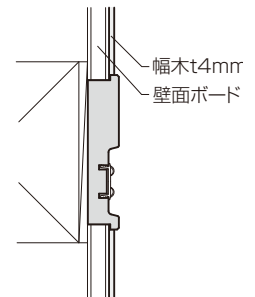
- ①壁面ボードを施工してください。
- ②ライン幅木の裏面全体に接着剤(現場手配)を塗布して張付けてください。
- ③かくし釘(200～300mmピッチ)で固定してください。

#### 幅木→クロスの順で取付け

##### 【平入り納まり】



##### 【両入隅納まり】



ラフィス  
ライン幅木  
施工手順動画



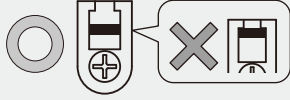


## ⑨ 本体の吊込み

### ▲ 注意

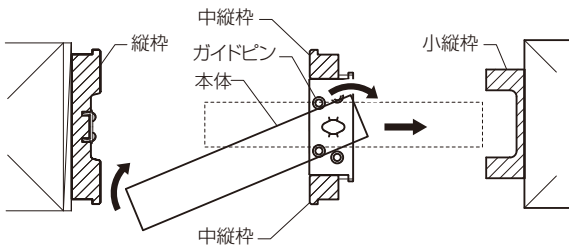


●必ず吊車を最後(レバーが下がる)まで入れてください。脱落するおそれがあります。

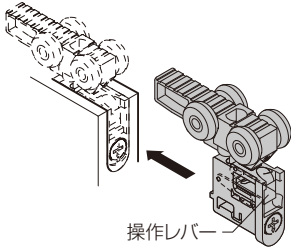


- ①戸尻ストッパーを本体戸尻側に取付けしてください。
- ②本体を斜めにし、下部溝にガイドピンを入れ、吊車Bを最後まで押し込んでください。
- ③本体を回転させながら枠内に挿入して、吊車Aを最後まで押し込んでください。

### ●本体の挿入要領



### ●吊車の取付け

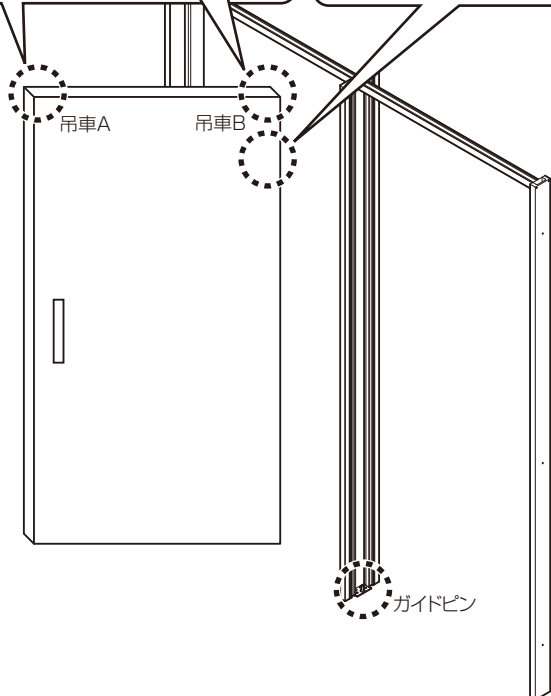
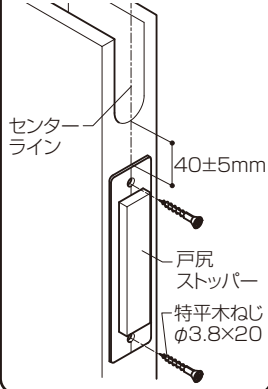


操作レバー



レバーが下がるまで入れる

### ●戸尻ストッパーの取付け



## ⑩ 本体への部品取付け(吊込み後)

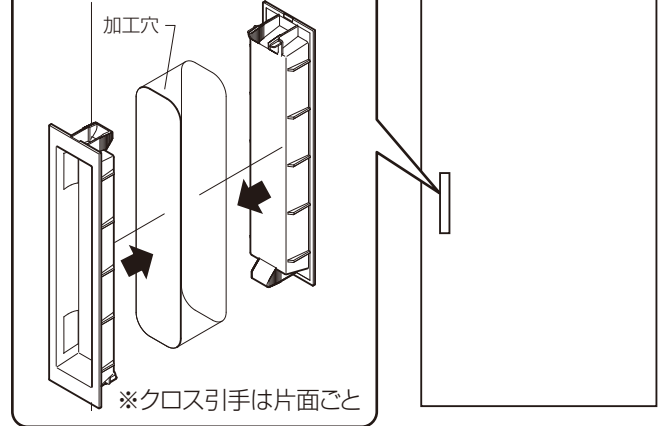
### ■引手の取付け

- ①仮組みされた引手は平行に引き抜いてください。
- ②引手を本体加工穴に押し込み固定してください。

### ■引手セット(別売)

名称	入数
引手	2個

### ●引手の取付け



### ■オプション部品 錠の取付け

錠の取付け説明書を参照してください。

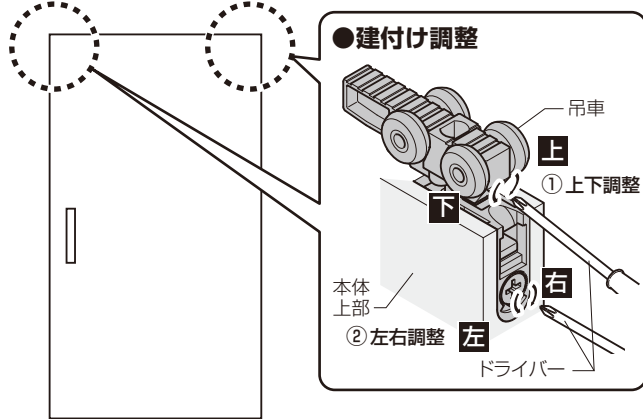
## ■ 本体側の調整について

### 本体調整上のお願

- 本体と床のすき間が範囲から外れると以下のような不具合となります。(本体下部のはずれ、引戸下部のこすれ)

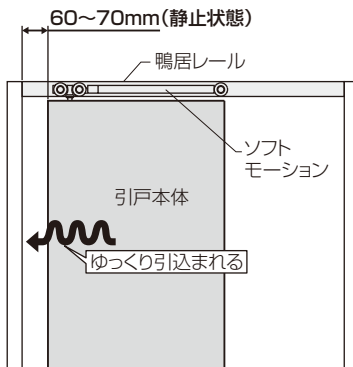
### ● 建付け調整について

- ① 上下調整 (+4mm、-1mm)  
ドライバーで右に回すと本体が上がり、左に回すと下がります。
- ② 左右調整 (±2mm)  
ドライバーで右に回すと本体が右へ、左に回すと左に動きます。



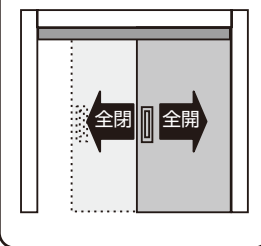
### ● ソフトモーションについて

- ・ 静止状態から60~70mmで引き込みされます。
- ・ 開閉時は、本体重量、速度によって作動開始位置は変わります。減速して引き込まれたら正常です。



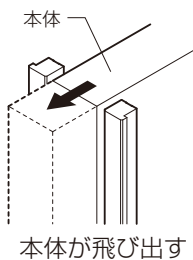
### ● 異常時の対処

何度か全閉全開操作を繰り返してください。



### ● ポップアップについて

- ・ 本体が全開で静止して、本体を押すと少し飛び出します。



### ● 異常時の対処

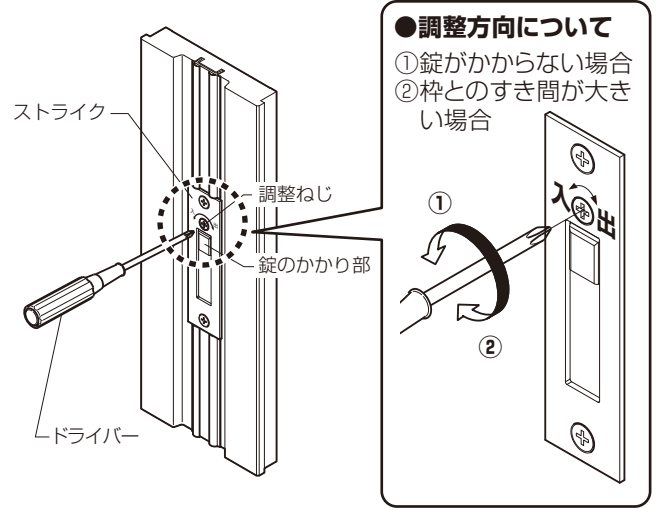
全開で機能復帰



## ■ 枠側の調整について

### ● 引戸錠のかかり調整

- ① 錠がかからない場合、右に回してください。
- ② 枠とのすき間が大きい場合、左に回してください。



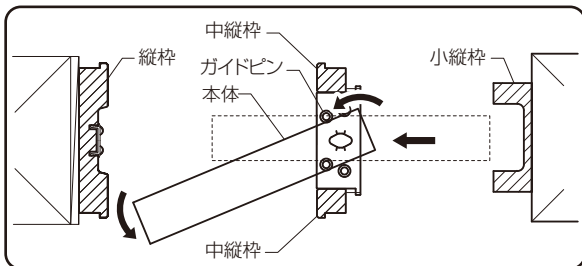
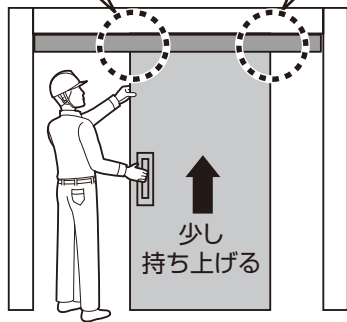
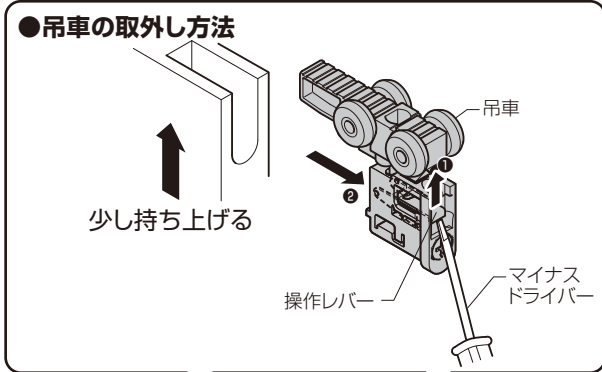
### ● 調整方向について

- ① 錠がかからない場合
- ② 枠とのすき間が大きい場合

## ④ 本体・引手の取外し方法

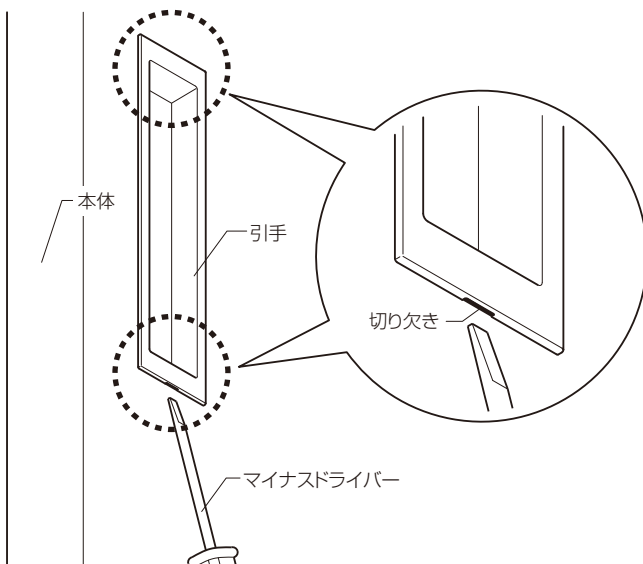
### ● 本体の取外し方法

- ① 以下要領で、戸先側吊車を外してから、扉を回転させて戸尻側吊車を外してください。
- ・ 本体を少し持ち上げて吊車に荷重がかからないようにする。
  - ・ 操作レバーをマイナスドライバーなどで押し上げながら引き抜く。



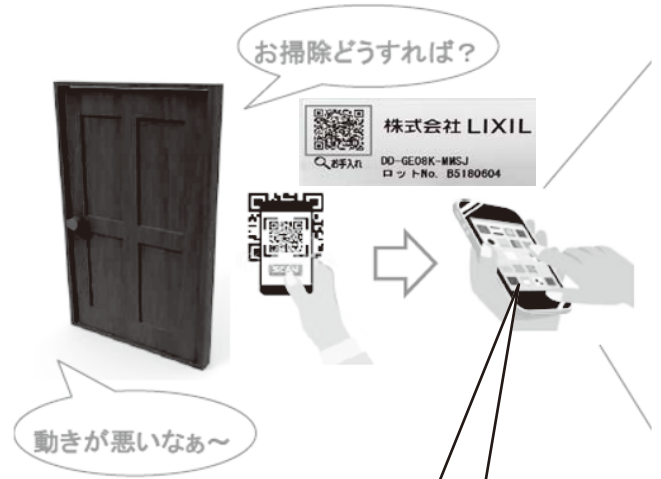
### ● 引手の取外し方法

マイナスドライバー等を切り欠きに入れて外してください。



## ④ 困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。  
※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



### ● スマホ画面

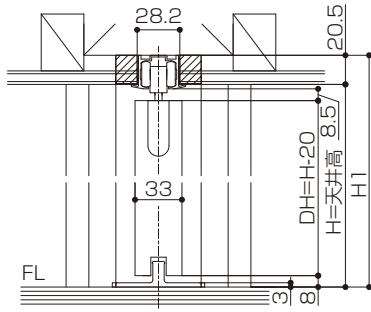
○ お客さまサポート

- ▲ 安全にお使いいただくために ⊕
- ? よくあるお問い合わせ ⊕
- ✓ お手入れ・お掃除 ⊕
- 📄 取扱説明 ⊕
- 🔧 調整方法 ⊕
- ! 故障かなと思ったら ⊕
- ✂ 施工説明 ⊕
- 🛒 部品購入 >
- ☎ お問い合わせ ⊕
- 📞 修理のご依頼 >
- 👤 リクシルオーナーズクラブへのご登録 >

■参考納まり図

■上吊片引戸標準

●縦断面図

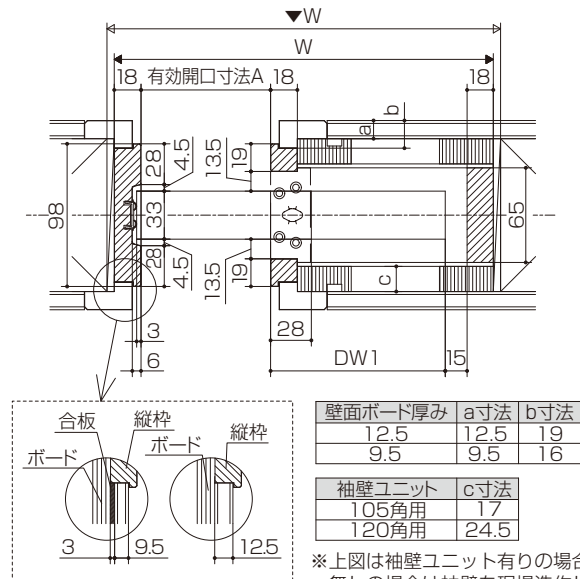


有効開口寸法

W呼称(枠外寸法)	A寸法
W14(1454)	686
W16(1644)	781
W18(1824)	871

算出式: A寸法=(W-82)/2  
DW=(W-20)/2

●横断面図



壁面ボード厚み	a寸法	b寸法
12.5	12.5	19
9.5	9.5	16

袖壁ユニット	c寸法
105角用	17
120角用	24.5

※上図は袖壁ユニット有りの場合です。  
無しの場合は袖壁を現場造作してください。